

「E-ディフェンス橋梁耐震実験見学会」のご案内 ～次世代型橋梁への序章～

(独) 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センターでは、「E-ディフェンス橋梁耐震実験見学会」を下記のとおり開催いたします。実験は、E-ディフェンス震動台によって次世代コンクリート橋脚を加振し、大地震時の耐震性能を検証するものです。公開実験では、試験体に上部構造重量に相当する鋼製錘を配置した状態で加振を行います。

日 時：平成22年2月26日（金）

14:00～15:30

会 場：独立行政法人防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター

(兵庫県三木市志染町三津田西亀屋 1501-21 実験棟)

案内地図

<http://www.bosai.go.jp/hyogo/access.html>

申込方法：参加希望者は、①氏名、②所属・役職、③連絡先住所・TEL・FAX、④来所方法(予定)、⑤緊急連絡先(当日連絡が取れる電話番号)を明記の上、2月15日までに下記電子メールアドレス宛、お申し込み下さい。

また、申し込み人数は、メール1件につき2名様までとさせていただきます。

e-mail: ekengaku@bosai.go.jp

兵庫耐震工学研究センター 担当：中山、巳原 TEL：0794-85-8952

スケジュール

13:00 受付開始

14:00 実験開始(予定)

16:30 試験体観察(予定)

(但し、震動台周囲での試験体観察となります。ご了承下さい)

定 員：150名(申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます)

*実験現場の状況次第で時間帯の変更あるいは中止になることもございます。予め御了承下さい。



2010年1月20日撮影



実験内容

1995年兵庫県南部地震ではRC(鉄筋コンクリート)橋脚に甚大な被害が発生しました。橋脚は都市部の交通インフラを構成する重要な構造物であり、地震直後からの交通手段の確保、被災地への支援および復興にも欠かすことができません。本実験は、被りコンクリートの剥落を防ぐために、橋脚基部付近のコンクリートを高靱性繊維補強セメント複合材料に置き換えた次世代RC橋脚の耐震性能の検証を目的としています。試験体は、実大のRC橋脚1本に2つの橋げたを載せて震動台上に構築し、1995年兵庫県南部地震においてJR鷹取駅構内で記録された強震動に動的相互作用を考慮した加振を行います。RC橋脚試験体の柱部は矩形断面(四隅を面取り)で一辺1.8m、柱高さ6.0m、基礎部(底部)は縦7m×横7m×高さ1.8mです。実験では、約850個のセンサーを試験体および実験装置に取り付け、実験時のさまざまな挙動を計測します。公開実験による破壊形態は橋脚最下端での曲げ破壊が予想されます。

実験で得られたデータは、橋梁分野の耐震研究者に提供され、橋梁の耐震設計や学術的研究への活用が期待されます。なお、本実験は最終実験でないため、加振により試験体が大きく損傷することはありません。



平成20年度橋梁実験時写真(見かけ上は試験体外観に大差がありません)